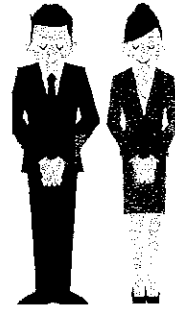


こだま

第49号 (2022年10月)
 発行 九鬼コミュニティセンター
 電話 0597-29-2164

日頃は、コミュニティ活動に、多大なご協力・参加を賜り厚く御礼申し上げます。



〈お願い〉

引き続き、コロナウイルス感染予防のため、3密(密閉・密集・密接)を避け手洗いと手指消毒・マスクを着用し換気に注意してご利用していただきますようお願い致します。

がん検診のお知らせ

「乳がん・子宮頸がん」

日時 11月22日(火)

午後1時〜

1時20分

料金 各、〇〇〇円



年1回
乳がん・子宮頸がん
検診を受けましょう!



令和4年度の九鬼文化展は、コロナウイルス感染拡大予防のため中止といたします。皆様ご理解いただきますようお願いいたします。

九鬼の おもろ 歴史

九鬼への定期巡航船

住民が船を利用して遠い目(大阪や名古屋)の地区外へは、どんな海上交通機関を利用して来たのか、尾鷲市史で探ってみます。

明治三十二年(一八九九)大阪商船株式会社が一泊三日の主要港に定期的に寄港する航路を開航した。九鬼港に入らないので、陳情を何年もしてきて、大正五年(一九一六)に大阪港を奇数日発の便のみ寄港となった。その後毎日寄港となったのは大正十三年(一九二四)であった。

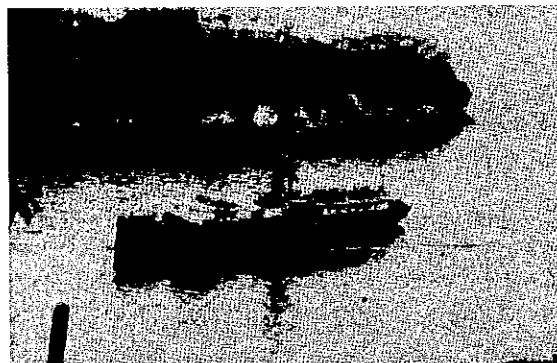
その間明治三十二年(一八九九)尾鷲と九鬼間に尾鷲の内山栄松氏が三丁櫓の定期運搬船を開業した。その後明治四四年(一九一三)木造

発動機船「若栄丸」6tと堀口延之助氏と共同で大正元年(一九一三)「開花丸」10tを九鬼間定期巡航船として配船した。

大正二年(一九一三)尾鷲南浦の矢浜藤市(やはまとういち)氏が木造発動機船「登一丸」23tを、息子政市氏も大正七年(一九一八)「権現丸」を尾鷲、九鬼、三木、三木里、古江、賀田、曾根、梶賀、新鹿、二木島、木本に寄港する定期巡航船毎日三往復、直行便(尾鷲と木本)二往復とする航路を配船した。

その後、紀勢本線など鉄道が延長してきたので大阪商船などは「紀州航路線」を廃止した。昭和七年(一九三二)尾鷲に「熊野商船株式会社」を創業し、他社が解散して、吸収した形態となり、木本と尾鷲間の定期巡航船を中心とし引き継いで運航していった。

九鬼に寄港の
大阪商船の定期船



巡航船と九鬼の住民

